

令和5年9月20日

JA共済連三重

**スタントマンが自転車交通事故をリアルに再現
いなべ市立員弁中学校にて、自転車交通安全教室を開催（10/20）**

— 事故の衝撃や危険性の疑似体験により、自転車交通ルールの順守を呼びかけます —

JAみえきた（三重北農業協同組合）とJA共済連三重（全国共済農業協同組合連合会三重県本部）では、三重県警察本部と連携して、令和5年10月20日（金）11:15～12:30に、いなべ市立員弁中学校（いなべ市員弁町大泉新田 1739 番地）にて、スタントマンによる自転車交通事故の実演を通じて、事故の衝撃や恐さを生徒に実感（※スケアード・ストレイト教育技法）していただく自転車交通安全教室を開催します。

警察庁がまとめた「令和4年における交通事故の発生状況」によると、令和4年中における自転車乗用中の死傷者数は約6万8千人で、そのうち19歳以下は約1万9千人で全体の約3割を占めており、社会問題化しています。

このようななか、JA共済では、通学や日常生活において自転車の利用頻度が高い中高生を対象に、スタントマンによるスケアード・ストレイト教育技法を用いた自転車交通安全教室を開催し、自転車交通ルールの順守による交通事故の未然防止を訴えます。

報道関係の皆様方におかれましては、ご多用のところとは存じますが、取材のご検討を賜りたくご案内申し上げます。

なお、開催概要につきましては、次頁をご覧ください。

※スケアード・ストレイト教育技法

スケアード・ストレイト教育技法は学習者に「恐さ」を与えることにより、社会通念上望ましくない行為を自主的に行わせないようにする教育技法です。

今回の自転車交通安全教室では、スタントマンが参加して生徒の目の前で交通事故を再現し、事故の衝撃や恐さを実感してもらうことで、ルールやマナー違反が交通事故を招く危険性があることを考えてもらい、自転車交通ルールの理解と実践を呼びかけます。

「自転車交通安全教室」開催概要

1. 日 時：令和5年10月20日（金）11:15～12:30
2. 会 場：いなべ市立員弁中学校
3. 場 所：いなべ市員弁町大泉新田 1739 番地
4. 参加者：約 284 名（全校生徒）
5. 主 催：JAみえきた（三重北農業協同組合）・三重県警察本部
6. 協 力：JA共済連三重（全国共済農業協同組合連合会三重県本部）
7. 内 容：
 - （1）主催者挨拶、概要説明・諸注意
 - （2）交通安全教室（交通事故再現スタント開始）
 - （3）交通安全講話、記念品贈呈、生徒代表挨拶
など

◇スケアード・ストレイトによる自転車交通安全教室の様子（イメージ）



以 上

この件に関するお問い合わせ先

JA共済連三重（全国共済農業協同組合連合会三重県本部） 普及部

担当：羽多野

TEL：059-229-9137

- ・JA共済連三重ホームページ <http://www.jamie.or.jp/jakyosai/>
- ・JA共済ホームページ <http://www.ja-kyosai.or.jp>
- ・JA共済地域貢献活動ホームページ <http://social.ja-kyosai.or.jp>

「JA共済 自転車交通安全教室」

取材エントリーシート

FAX. 059-228-7481

貴社名 _____

貴媒体名 _____

ご所属 _____

ご芳名 _____

ご連絡先電話番号 _____

【お願い】

誠に恐縮ですが、10月13日（金）までにご送信いただけると幸いです。